

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと玩具		科目コード	22Y211	担当者	織田 芳人			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	前期	単位数	1	担当形態	単独			
			授業形態	演習							
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士選択				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
子どもの学びや成長に有効な玩具について理解を深め、子どもによる玩具製作に必要な材料や用具、技法を修得する。						1. 「 良心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	保育に活用される教育玩具について理解する。										
2.	子どもによる玩具製作に必要な技法に基づいて、材料や用具を適切に扱うことができる。										
3.	玩具製作に関する保育計画案を構想することができる。										
4.								◎	○	○	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（20%） 提出物（50%） 発表内容（20%） 受講態度（10%）					
スライド、プリント等を適宜使用して講義を行う。 紙等の素材を使用して玩具製作を行う。											
課題等への対応						授業外学修時間					
予習または復習に関するレポートを作成し提出する。評価後、返却する。 提出した課題作品は評価後、返却する。						各回の予習または復習に30分をあてる。					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	授業計画、玩具についての概略を理解する					玩具の語義等をまとめる（復習）					
第2回	日本における玩具の歴史を理解する					日本の伝統的な玩具について調べる（予習）					
第3回	西欧における教育玩具の歴史を理解する					フレーベル及びモンテッソーリについて調べる（予習）					
第4回	現代の教育玩具を理解する					現代の教育玩具について調べる（予習）					
第5回	プログラミング教材を理解する					プログラミング教材についてまとめる（復習）					
第6回	プログラミング教材を体験する					プログラミング教材についてまとめる（復習）					
第7回	紙等による玩具製作を行う					おもちゃ製作の過程をまとめる（復習）					
第8回	玩具製作の保育計画案を作成する					保育計画案の骨子を構想する（予習）					
試験	定期試験を実施する										
教科書	なし					受講生へのメッセージ 予め連絡する製作に必要な材料・用具は個人負担です。各自準備して授業に臨んでください。 製作に要する時間には個人差があるので、授業時間外での製作が必要になることがあります。					
参考書等	永田桂子（2007）『よいおもちゃとはどんなもの？』チャイルド本社 樋口正春（1991）『子育てにおもちゃを』エイデル研究所 竹井史（2006）『製作あそび百科』ひかりのくに										